



2024年1月10日

各位

会社名 株式会社コシダカホールディングス
代表者名 代表取締役社長 腰高 博
(コード番号：2157 東証プライム)
問合せ先 専務取締役 土井 義人
グループCF管掌
電話 0570-666-425

2024年8月期 第1四半期 決算補足説明資料 訂正の件

平素は格別のご高配を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げます。
標記の件、本日付けで開示しました決算補足説明資料につきまして、下記のとおり誤りがございましたので、ここにお詫びして訂正いたします。

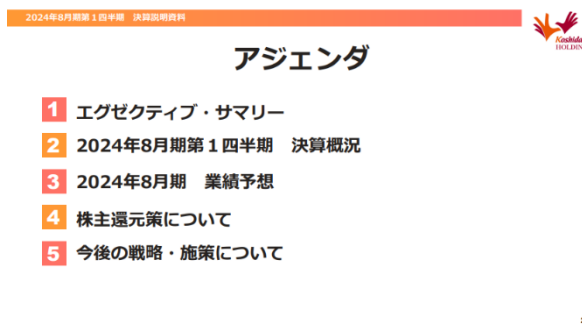
記

●訂正箇所 当該資料2ページ目

下図の通り

- 3、2024年8月期 業績予想
- 4、株主還元策について
- 5、今後の戦略・施策について の各項目を削除

(誤)



(正)



株式会社コシダカホールディングス

東証プライム（証券コード2157）

2024年8月期第1四半期 決算補足説明資料

2024年1月10日(水)

アジェンダ

1 エグゼクティブ・サマリー

2 2024年8月期第1四半期 決算概況

1. エグゼクティブ・サマリー

2024年8月期第1四半期 概要

- ・第一四半期として過去最高売上高を達成（※スピンオフ後）
- ・近畿エリアへの出店継続、京都市内にも初出店
- ・海外出店加速（マレーシア2店舗、タイ・インドネシア各1店舗出店）

EIP（Entertainment Infrastructure Plan ※1）加速・東南アジア展開本格化

- ・日本の隅々まで「カラオケまねきねこ」をつくる

近畿地区への積極展開継続

積極出店の継続（首都圏・中京エリア、リロケーション案件） ⇒ 国内50店舗ペース継続

「エンタメをインフラに」

- ・娯楽を人々の生活上になくしてはならないものにする

P E R（Private Entertainment Room ※2）の拡充に向けた開発継続

- ・全世界の人々に究極の安寧を提供する

東南アジア地域への出店再開

アニメコラボの海外展開

※1 EIP：Entertainment Infrastructure Plan「エンタメをインフラに」は当社グループの中期経営ビジョンです

※2 PERとはPrivate Entertainment Roomの略語であり、中期経営ビジョンの下、カラオケにとどまらない様々なエンタメを提供する場を指します

2. 2024年8月期第1四半期 決算概況

【2024年8月期第1四半期連結業績】

- 1Q連結業績は売上高、営業利益ともにほぼ計画値で着地。
- 1Qとしては過去最高売上・利益を前年に続き更新（スピノフ後ベース）。

(単位：百万円)

項目	2023年8月期 1Q	2024年8月期 1Q	前年同期比		1Q計画比	
			増減	増減率	計画値	達成率
売上高	11,278	13,182	+1,904	+16.9%	12,827	102.8%
売上総利益	1,851	2,151	+299	+16.2%	-	-
販売費及び一般管理費	1,317	1,577	+260	+19.8%	-	-
営業利益	534	573	+39	+7.3%	578	99.2%
(売上高営業利益率)	4.7%	4.3%				
経常利益	535	1,021	+485	+90.5%	554	184.3%
(売上高経常利益率)	4.8%	7.7%				
親会社株主に帰属する当期純利益	327	787	+460	+140.8%	360	218.6%
(売上高当期利益率)	2.9%	6.0%				
1株当たり当期純利益（円）	4.01	9.66	+5.65	+140.8%	4.42	218.6%

【セグメント別 連結業績（前年同期比）】

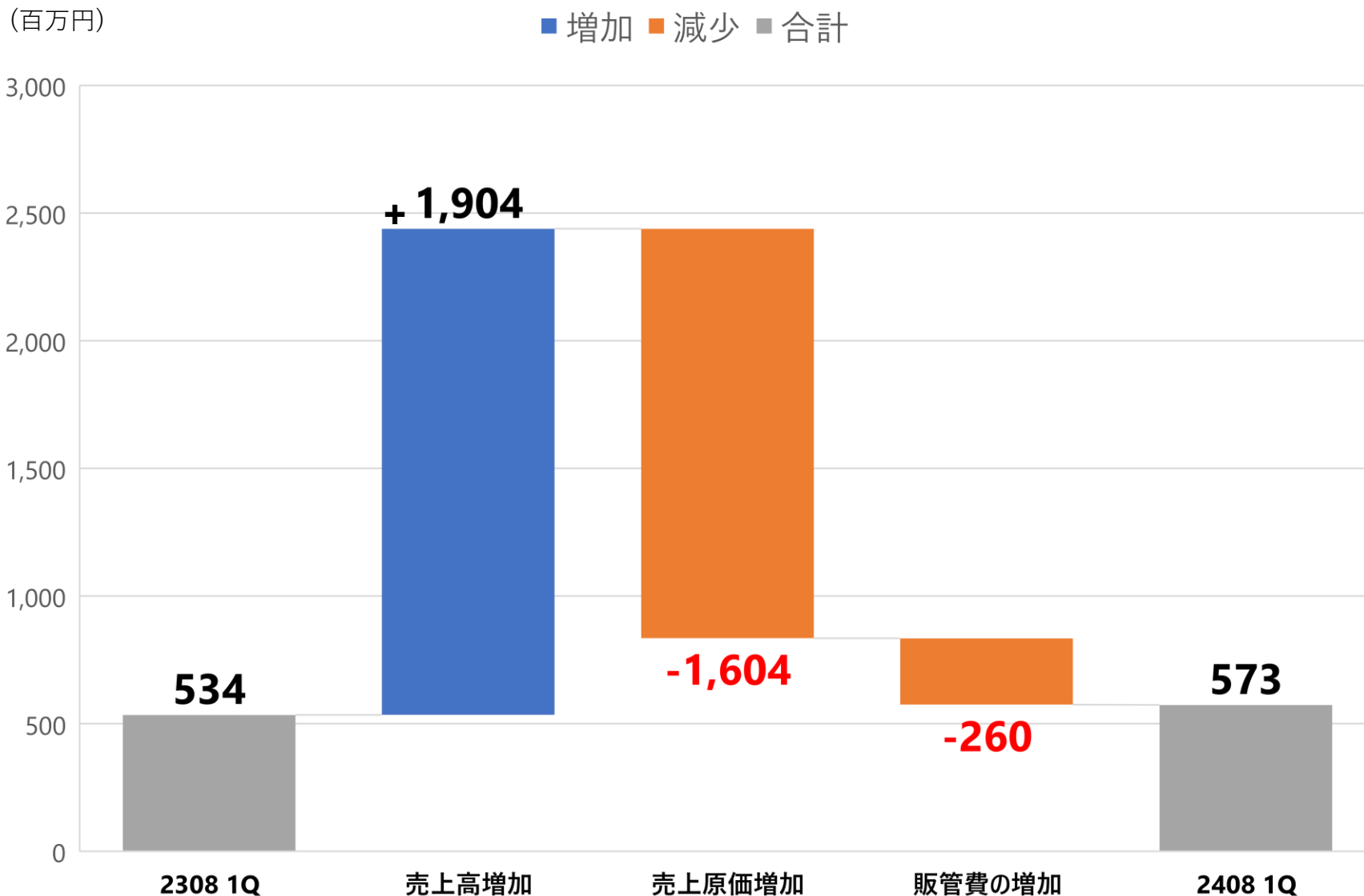
- カラオケ事業：積極出店の継続で二桁増収、増益。前期既存店も客数、客単価ともプラスで売上19.3%増。年末年始商戦に向けた新店・既存店の機器更新投資や、WIPによる給与引上を吸収し利益率改善。
- 不動産管理事業：「スポーツ名古屋」譲渡で該当収益減、新規物件の経費も増加。
- その他事業：旧温泉の「東京健康ランドまねきの湯」閉店で該当収益減。カラオケから売上104百万円、利益△24百万円がその他に移動。

(単位：百万円)

項目	2023年8月期 1Q	2024年8月期 1Q	前年同期比		1Q計画比	
			増減	増減率	金額	達成率
売上高	11,278	13,182	+1,904	+16.9%	12,827	102.8%
カラオケ	10,650	12,707	+2,056	+19.3%	12,294	103.4%
不動産管理	345	332	△12	△3.7%	358	93.0%
その他	338	208	△129	△38.2%	231	90.4%
調整額	△55	△66	△10	-	△56	-
営業利益	534	573	+39	+7.3%	578	99.2%
カラオケ	801	1,000	+199	+25.0%	991	101.0%
(売上高営業利益率)	(7.5%)	(7.9%)			(8.1%)	
不動産管理	81	△3	△84	-	22	-
(売上高営業利益率)	(23.4%)	(△0.9%)			(6.1%)	
その他	△23	△60	△36	-	△49	-
(売上高営業利益率)	(-)	(-)			(-)	
調整額	△323	△363	△39	-	△386	-

【営業利益 増減要因（前年同期比）】

(単位：百万円)



■ 主な売上高の増加

- ✓ 新店： +1,277
- ✓ 既存店： +1,117
- ✓ 不動産・その他： △142
- ✓ 閉店・調整等： △348

■ 主な売上原価の増加

- ✓ 人件費： +400 (+12.7%)
- ✓ 地代家賃： +356 (+17.0%)
- ✓ 商品原価： +309 (+34.7%)
- ✓ 配信料： +128 (+33.5%)
- ✓ 減価償却費： +102 (+12.2%)
- ✓ 各種手数料： +62 (+30.4%)

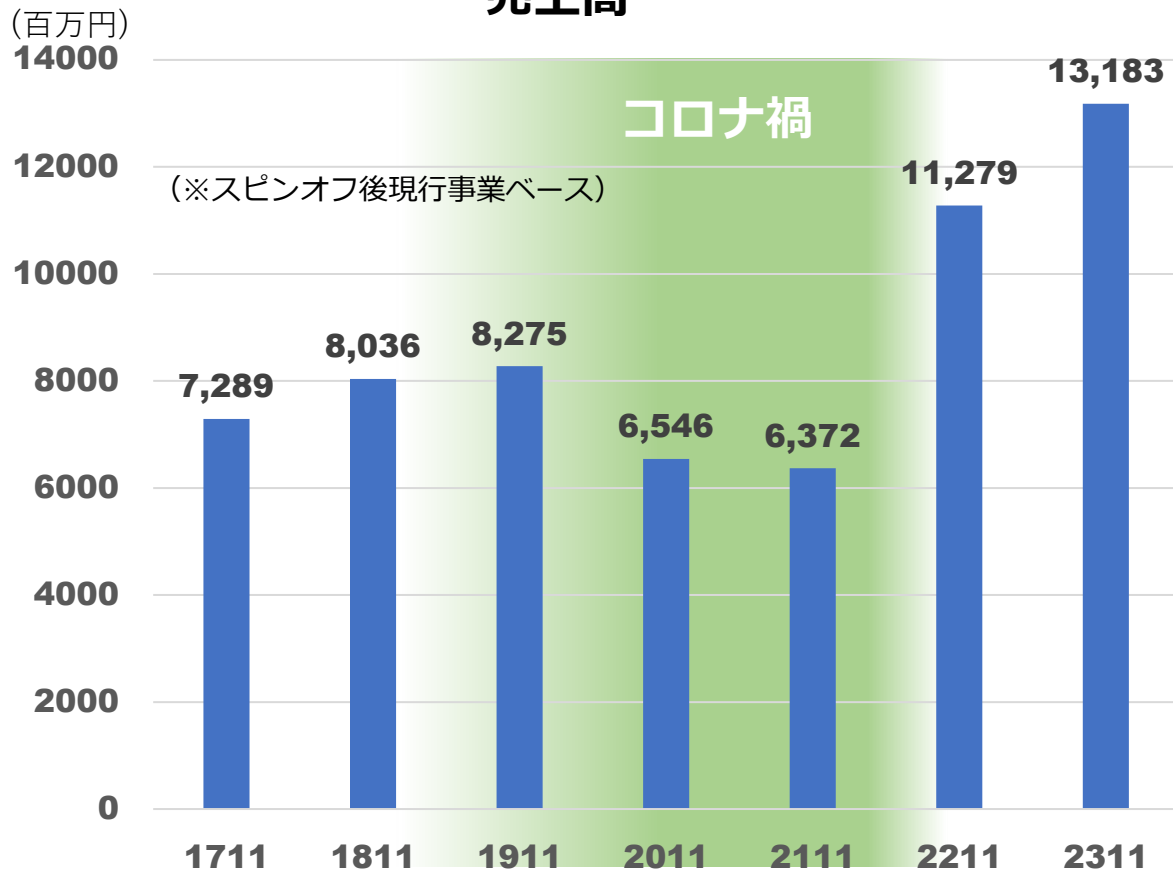
■ 主な販管費の増加

- ✓ 人件費： +100 (+25.8%)
- ✓ 広告宣伝費： +72 (+81.2%)
- ✓ 接待交際費： +39 (+21倍)
- ✓ 募集費： +37 (+50.9%)
- ✓ 開店諸費用： △28 (△12.2%)

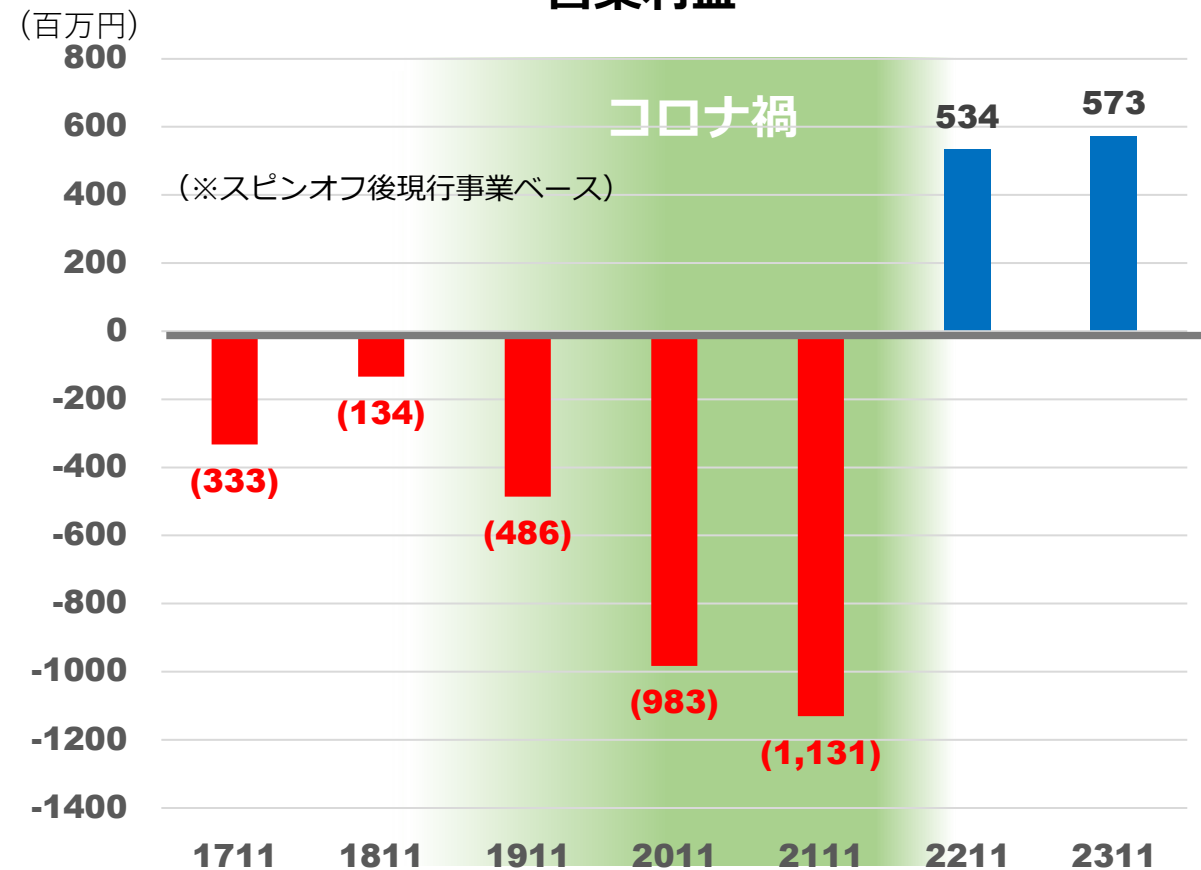
(※ご参考)【1Q連結業績の推移】

- 売上高、営業利益ともに過去ピークを更新
- 営業利益はカラオケ事業の季節性からコロナ前も赤字基調だったものが、前期以降1Qでも黒字に転換。

売上高



営業利益



カラオケ事業

【カラオケ事業】

- 既存店増収と継続出店による新店売上寄与 ⇒ 客数増加と粗利益率の上昇
- メニューならびにルーム料金の見直しの実施 ⇒ 客単価の上昇

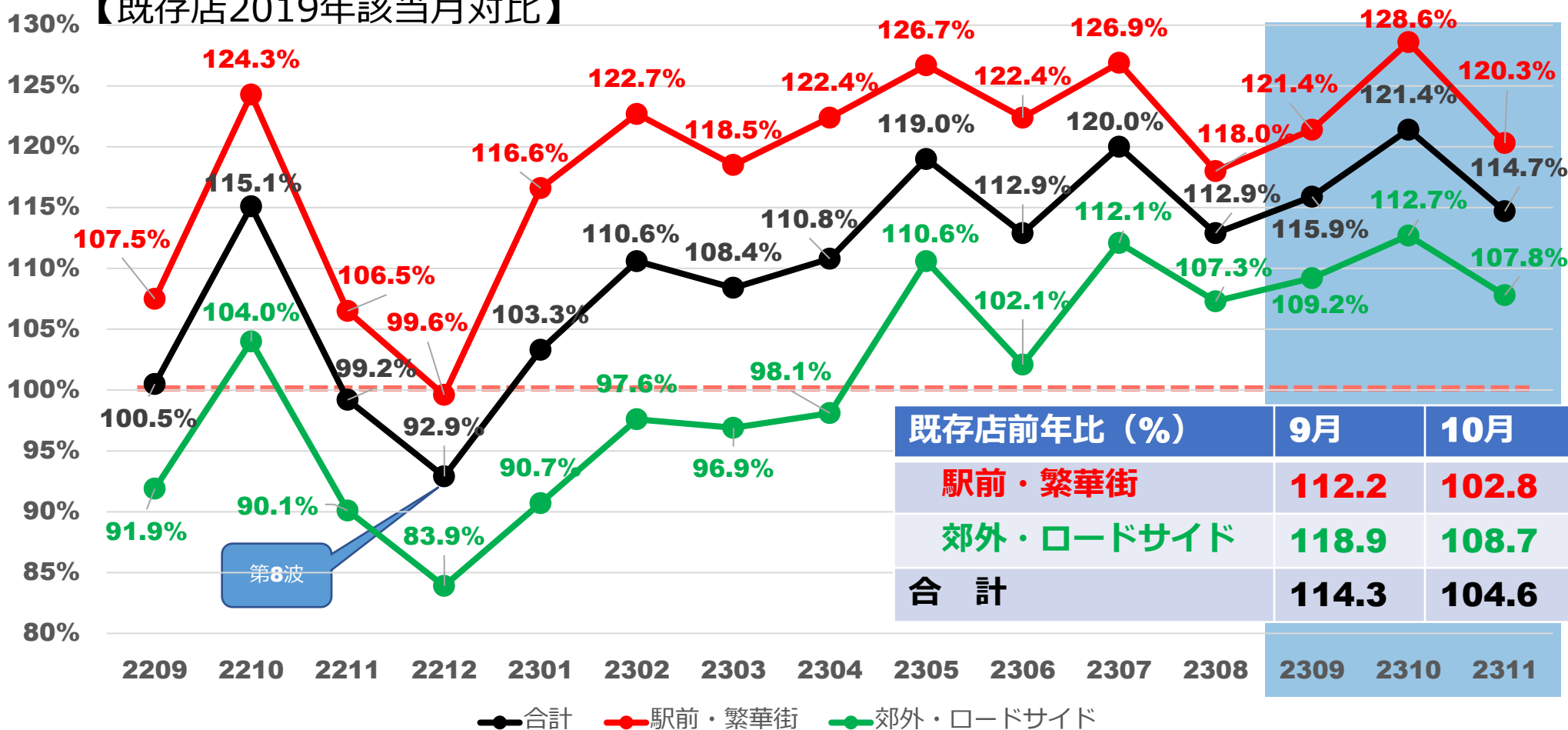
(単位：百万円)

	20/11旧区分		21/11旧区分		22/11旧区分		22/11新区分		23/11	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	6,133	-	5,948	-	10,741	-	10,650	-	12,707	-
売上原価	6,767	100.6%	6,134	103.1%	8,978	83.6%	8,873	83.3%	10,513	82.7%
売上総利益	△33	△0.5%	△185	△3.1%	1,764	16.4%	1,776	16.7%	2,193	17.3%
販管費	704	11.5%	764	12.8%	979	9.1%	975	9.2%	1,192	9.4%
営業利益	△737	△12.0%	△950	△16.0%	784	7.3%	801	7.5%	1,000	7.9%

【既存店売上高の推移】

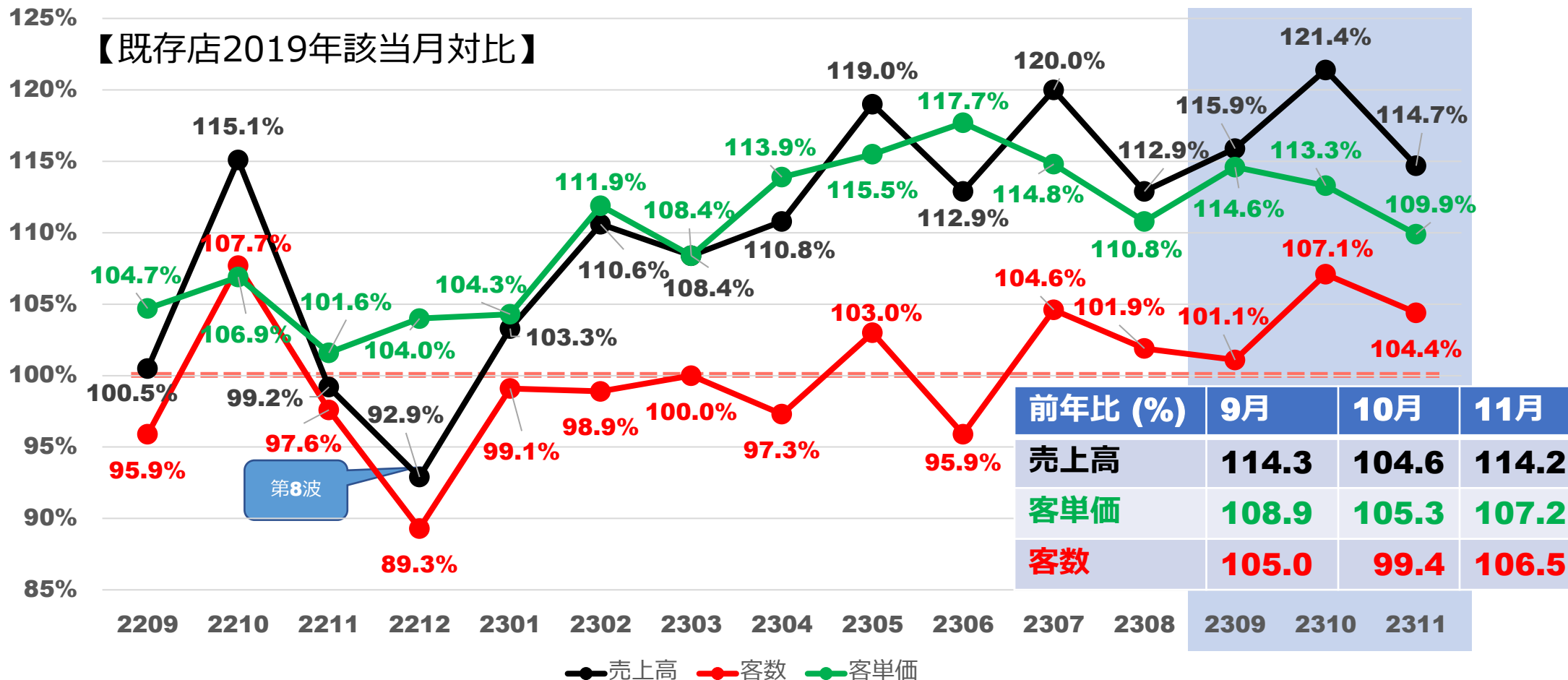
- 前年同月対比の既存店売上高(各月ベース)は3か月累計で110.9%。
- 駅前繁華街エリアは同108.8%。前年期初からリベンジ消費が顕在化していた
- 郊外ロードサイドは同115.5%。リベンジ消費が前期後半から地方でも顕在化

【既存店2019年該当月対比】



【既存店売上高・客数・客単価の推移】

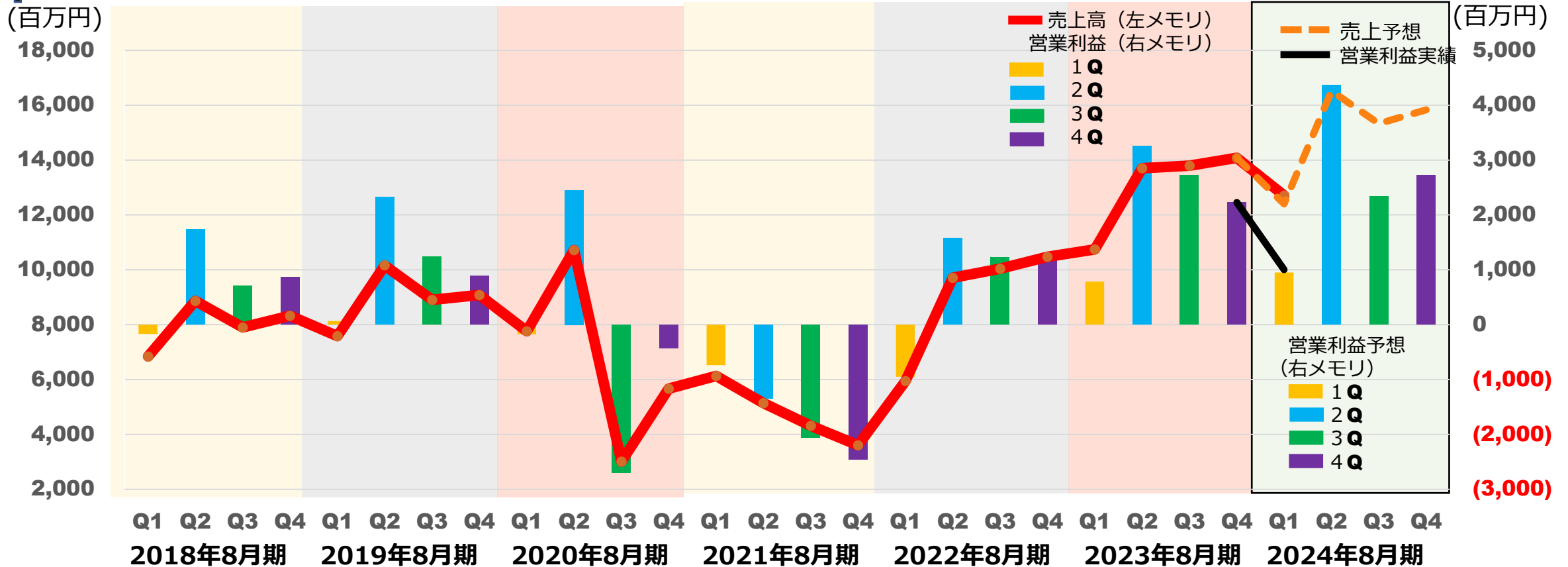
- メニューの見直し並びにルーム料金改定は22年10月以降順次実施、12月・1月には再見直し
- 例年単価が下がる2月以降春休みGWまで価格水準維持し19年比は6月がピークも110%水準を継続
- リベンジ消費が広範囲に浸透、5類適用後の23年5月、7月以降は客数が2019年を上回る



【カラオケセグメント四半期ベース業績推移】

- 年末年始商戦を含む2Qに売上・利益が集中、お盆を含む夏季商戦の4Q、春休み・GWの3Qと続き、1Qが最も低い水準
- 最閑散期の1Qは、コロナ前は赤字だったが、2023年8月期は1Qにも利益を計上。2024年8月期も1Q黒字かつ前期比増益
- 2023/8期はコロナ感染症拡大第8波の影響もあり最盛期の2Qでやや減速、2024/8期の2Qは通常ペース想定

カラオケセグメント四半期ベース業績推移



【店舗・ルーム数状況】

- 店舗の大型化と駅前繁華街への出店を継続 ⇒ 店舗運営の効率化をはかる

店舗数 ルーム数推移		23/8月期		24/8月期1Q		増減	
		店舗数	ルーム数	店舗数	ルーム数	店舗増加数	ルーム増加数
まねきねこ	駅前/繁華街	340	9,411	352	9,795	+12	+384
	郊外/ロードサイド	274	6,563	274	6,589	-	+26
	計	614	15,974	626	16,384	+12	+410
ワンカラ		6	212	6	207	-	-5
合計		620	16,186	632	16,591	+12	+405

出店・退店数		23/8月期1Q	23/8月期2Q	23/8月期3Q	23/8月期4Q	24/8月期1Q
出店数	駅前/繁華街	13	9	13	10	12
	郊外/ロードサイド	6	0	0	2	0
	合計	19	9	13	12	12
退店数		2	3	5	0	0

【海外業績】

- 東南アジア各国で積極出店継続：マレーシア2店舗、タイ・インドネシア各1店舗を出店
- 出店コスト、季節性で各国赤字計上
- インドネシア事業責任者による初の出店 ⇒ ローカル人材の活用

(単位：百万円)

	23/8月期			24/8月期		
	通期			1Q		
	売上高	営業利益	店舗数	売上高	営業利益	店舗数
海外全体	779	△2	17	232	△26	21 (+4)
韓国	99	△14	4	21	△2	4 (-)
マレーシア	452	17	10	143	△10	12 (+2)
タイ	185	11	2	56	△1	3 (+1)
インドネシア	43	△16	1	10	△12	2 (+1)



【マレーシアの様子】



【タイの様子】

※マレーシア、タイ、インドネシアは非連結、それぞれ7~8月あるいは9~11月の月次損益12ヶ月分合計値

不動産管理事業・その他事業

【不動産管理事業】

- スポルト名古屋譲渡により、該当収入が減少
- 主要既存物件はほぼ満床にて推移
⇒ アクエル前橋、フルーレ桜木町
- 新規店舗用不動産の取得による経費増加

(単位：百万円)

	19/11 Q		20/11 Q		21/11 Q		22/11 Q		23/11 Q	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	133	-	145	-	261	-	345	-	332	-
売上原価	217	163.4%	178	122.4%	231	88.3%	258	74.7%	329	99.0%
売上総利益	△84	△63.4%	△32	△22.4%	30	11.7%	87	25.3%	3	1.0%
販管費	5	3.9%	3	2.1%	2	0.9%	6	1.8%	6	1.9%
営業利益	△89	△67.3%	△35	△24.4%	28	10.7%	81	23.4%	△3	△0.9%

【その他事業】

- 旧区分「温浴事業」の「東京健康ランドまねきの湯」閉館で該当収益が減少
- カラオケから売上104百万円、営業利益△24百万円がその他に移動。（前期売上91百万円、営業利益△16百万円）
- カラオケ事業から移管の飲食店舗の収益は改善（赤字縮小）も、多店舗化準備、新業態立ち上げなどで販管費が嵩み営業利益ベースでは悪化

(単位：百万円)

	20/11 旧区分		21/11 旧区分		22/11 旧区分		22/11 新区分		23/11	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	267	-	210	-	246	-	338	-	208	-
売上原価	292	109.2%	246	117.5%	246	99.8%	350	103.7%	254	121.9%
売上総利益	△24	△9.2%	△36	△17.5%	0	0.2%	△12	△3.7%	△45	△21.9%
販管費	11	4.5%	6	3.2%	7	3.2%	11	3.4%	14	7.1%
営業利益	△36	△13.7%	△43	△20.7%	△7	△2.9%	△23	△7.1%	△60	△29.0%

財政状態

【貸借対照表 (BS)】

- 前期末に約2ヶ月あった現預金を取り崩し（流動資産）、新規出店による有形固定資産・投資その他の資産の増加、法人税の支払い（流動負債）に充当。

(単位：百万円)

	23/8月期 通期	24/8月期 1Q	増減
流動資産	12,374	8,243	△4,131
固定資産	44,633	46,300	+1,666
有形固定資産	32,032	33,234	+1,202
無形固定資産	510	540	+29
投資その他の資産	12,090	12,525	+435
資産合計	57,007	54,543	△2,464
流動負債	13,964	11,227	△2,736
1年内返済予定の長期借入金	1,911	1,993	+82
固定負債	17,648	17,749	+100
転換社債型新株予約権付社債	4,000	4,000	-
長期借入金	6,937	6,871	△65
負債合計	31,613	28,977	△2,636
株主資本	25,722	25,939	+216
純資産	25,394	25,566	+172
負債純資産合計	57,007	54,543	△2,464

株式会社コシダカホールディングス

東証プライム（証券コード2157）

本資料は、2024年8月期第1四半期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2024年1月10日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更される可能性があります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。